

さんちき (2)

一年組 番名前

① 教科書(48・10～48・32)を読み、親方が「侍」と「車大工」についてどのように考えているか、読み取ったことを簡潔にまとめよう。

侍	
車大工	

② 教科書(49・3～49・8)を読み、ここから読み取れる親方と三吉の思いを書こう。

親方の思い	<p>「ほう、こりやなんと百年も前に作った車や。長持ちしてるなあ。なにに『さんちき』か……。ふうん、これを作った車大工やな。ちよつと変わった名前やけど、きつと腕のええ車大工やったんやろなあ……。」</p> <p>← (49・3～49・6)</p>
三吉の思い	<p>「親方——。」</p> <p>三吉は親方の腰をぎゅつと押した。</p> <p>← (49・7～49・8)</p>

③ 『『さんちきは、きつと腕のええ車大工になるで。』／そつとつぶやいてから、思い切り息を吸い込んで、ろうそくの明かりをひと吹きで消した。』(49・19～49・21)とあるが、このとき三吉はどんなことを考えていたのだろうか。①・②で読み取ったことを手がかりにして、まとめよう。